

日本学術会議史学委員会歴史学とジェンダーに関する分科会
(第 25 期・第 3 回)
議事要旨

日 時：2022 年 8 月 27 日（金）16：30～18：10

場 所：オンライン開催

出席者：長志珠絵（委員長）、小浜正子（副委員長）、來田享子（幹事）、井野瀬久美恵、木本喜美子、京樂真帆子、永原陽子、芳賀満、姫岡とし子、星乃治彦、松本直子、三成美保、桃木至朗（13 名）

< 議事 >

1. 前回議事要旨の確認

前回議事要旨が確認された。

2. 今後の活動をめぐる議論

(1) 2022 年の議論と今後の方向性について

第 26 期への活動引継ぎを見据え、「記録」を残すとともに、広く社会との意見交換を行う場を設け、動画としても共有することをめざすことが決定した。

(2) 港区女性就業支援センター資料室（旧「女性と仕事の未来館」）の労働省関係資料について

この資料がジェンダー史の観点から非常に貴重な資料であるとの認識が共有され、分科会としても継承に向けた情報共有等を進めることが確認された。

(3) シンポジウムの企画について

ジェンダー史資料のデジタル化を含めたアーカイブの生成と利用・活用について、国内外の好事例を共有し、議論を深める必要性が確認され、継続審議とすることが決定した。

(4) 歴史科目の教科書におけるジェンダー視点に関する提言について

新たに設置された「歴史総合」「日本史探究」「世界史探究」の教科書におけるジェンダー視点について、第 26 期に引き続き検討することが確認された。

3. 参考人招致

女性史関係の資料保存・アーカイブとジェンダーをめぐる課題という観点から、2 (2) について、参考人を招請しヒアリングを行う。

4. その他

今後、第一部総合ジェンダー分科会、社会学委員会ジェンダー研究分科会、法学委員会ジェンダー法分科会、社会と教育における LGBTI の権利保障分科会等、関連分科会との情報共有及び連携を深めることが確認された。

以上